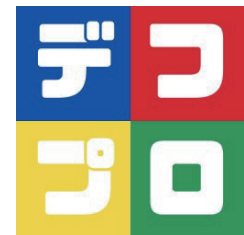




きこえない・きこえにくいアスリートたちの世界大会 東京2025 デフリンピックが調布にやってくる！

デフリンピックの開催に向けて、これまで市内小・中学校でデフアスリートや聴覚障害当事者が講師となり、デフスポーツや聴覚障害、手話を楽しむ学ぶプログラムを実施してきました。



7月10日、市立杉森小学校にデフリンピック出場選手が訪問し、児童と交流しました。デフバドミントン日本代表選手との交流を通じて、デフリンピックの魅力を学ぶとともに聴覚障害への理解を深めました。



◀デフバドミントン
日本代表
矢ヶ部紋可選手(左)
鎌田真衣選手(右)



スクリーンと手話でデフについて説明
音の代わりに相手の動きやシャトルの位置を目で捉え、連携するパートナーとのコミュニケーションも重視されるため、高度な判断力が必要です。パートナーとは深い絆が生まれます。



デフバドミントンの魅力「静寂の中のダイナミックなプレー」

デフバドミントンでは、選手は打球音や相手の声が聞こえないため、全ての判断を目に頼らなければなりません。そのため最初の1歩がどうしても遅れがちになります。ダブルスでは、聞こえる人と比べて、連携確認に倍以上の時間を費やしています。

質問コーナー



知りたいことがたくさん！

休憩中には選手の周りに児童が集まり、選手に知りたいことを聞いたり手話を教えてもらうなど交流を楽しんでいました。



先生たちもデフ選手相手に力比べ



選手とともにサインエール！本番に向けて皆で応援しよう！

選手と先生との白熱した試合！児童も大興奮！



おめでとう



耳が聞こえない？やりにくい？！

児童を代表してバドミントンに挑戦！

児童を代表して選手と一緒にバドミントンの試合を体験しました。耳栓を付けることで音がない世界を体験するとともに、音が聞こえない環境下での試合に戸惑いながらも、真剣に取り組む様子に周りの児童も手話でエールを送り続けました。

東京2025 デフリンピックを観戦しよう！

がんばれ～！

東京2025デフリンピックは、事前申し込み不要で、どなたでも無料で観戦できます！
バドミントンやゴルフをはじめ、陸上、水泳、バスケットボール、サッカーなど全21種類の競技が各地で開催されます。近隣ではレスリング(府中市立総合体育館)が実施されます。

デフリンピックの競技はコチラ



応援しよう！

市内での開催競技 デフバドミントン

強烈なショットや相手の裏をつくテクニック、スピーディーな試合展開に注目です。
11月16日(日)～25日(火)
国京王アリーナTOKYO(武蔵野の森総合スポーツプラザ)メインアリーナ
無料



東京2025
デフリンピックHP

	内 容	開場時間
11月16日(日)	シングルス	午前9時～
17日(月)	ダブルス	
18日(火)		
19日(水)	シングルス	
20日(木)	シングルス・ダブルス	
21日(金)		
23日(日)	団体戦	午前10時～
24日(月)		
25日(火)		

※競技開始時間の詳細は東京2025デフリンピックHP参照



応援しよう！

ゴルフ競技に応援アスリートが出場！

応援アスリートの袖山選手がゴルフ競技に出場します。デフゴルフは音の合図の代わりに「旗」を使って視覚的に伝えるなど、情報伝達の手段が異なります。静かな環境の中で、より研ぎ澄まされた集中力で観客を魅了します。
11月18日(火)～20日(木) 開場時間/午前7時30分～
ゴルフ競技会場/若州ゴルフリンクス(江東区若洲3-1-2)

プロフィール

袖山哲朗(そでやま てつろう)

1988年4月3日生まれ。調布市在住。 練習拠点/東宝調布スポーツパーク
主な戦績/日本デフゴルフ選手権(優勝)、世界デフゴルフ選手権(3位)、世界アマチュアゴルフフェーズ選手権(3位)

健聴者も出場する大会！

詳細は市HPから公開中の動画をチェック！



袖山選手のコメント

健常者のゴルフとの違いは、補聴器を外してプレーすることだけで、ルールはほぼ同じです。世界デフゴルフ選手権はプロゴルファーの参加はできませんが、デフリンピックではプロの参加が認められているため、非常にレベルの高いプレーが展開されます。その中で、プロ選手たちに挑み、メダル獲得を目指して全力で戦いたいと思っています。ぜひ会場に足を運び、応援していただくと嬉しいです！

例えば

この競技のデフならではの工夫

▼サッカー

「音のないサッカー」の愛称で呼ばれるデフサッカーでは、選手はピッチ上ではアイコンタクトや手話でコミュニケーションを取ります。競技中は笛の音や声が聞こえないため、主審と副審を含む合計5人のレフェリーがフラッグを持ち、競技中の状況をも方向から競技者へ伝えます。主審は笛と併せて競技をコントロールします。

▼陸上

100分の1秒を争うトラック種目では、スタート音に合わせて動作を開始することがとても重要になります。デフアスリートはスタート音が聞こえないため、以前はスターターや近くの選手を目視してスタートを行っていました。特にクラウチングスタートで行う短距離種目では、スタート合図を目視するため選手は顔を上げて、不利な姿勢でスタートに備える必要がありました。そこで開発されたのが「スタートランプ」です。スタート音を光の合図で知らせる装置で、ピストルと連動し、位置について「赤」、合図「黄」、号砲「緑」と色の変化によって選手に知らせます。スタートランプを選手の視線に配置することで、聞こえる人と同条件でスタートをきることができるようになりました。

おつかれさま

チェックしよう！

調布市・府中市合同YouTube動画

「デフリンピック開幕間近！デフバドミントン選手の素顔に迫る！」を公開中

デフバドミントンの練習会場である府中市と、競技会場のある調布市が日本代表を応援するため、YouTube動画を合同で制作しました。前編は府中市、後編は調布市の各公式YouTubeチャンネルで公開中！ぜひご覧ください。 伊東勇哉選手、鎌田真衣選手



市HP

こっちも話題！?

市職員出演のチャレンジ動画

「デフスポ応援男子がいく！初心者なんですがスマッシュをかつこよく決めたい！」も公開中！
園沼倉昌明選手、矢ヶ部紋可選手



Check

